

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 1

支出年月日	区 分		
令和6年2月13日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 株式会社 経済ジャーナル		支払金額	
		¥27,500	
摘要(品名)	数量	単価	金額
経済ジャーナル年間購読代 2024年4月~2025年1月分	10	¥2,750	¥27,500

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

※令和6年度は、5年度の残り10ヶ月分27,500円

※令和5年度は以下の通り

- ・残10ヶ月分27,500円は令和6年度政務活動費から支出
- ・初期費用3,000円及び、消費税込み手数料220円は政務活動費から除き自己負担とした

いつも、ご利用いただきありがとうございます。

06-02-13 N 引出

お取引金額 ¥36,000 お取引後元預残高 ¥220*****

お振込先 * お振込明細 * 030242

お振込先

ご依頼人 シンサンセイノカイ カワサキ ケイタ 様

TE

14:48

〒040-8666
函館市東雲町4-13-7F

請求書

市民参政の会 様

お客様契約No. [REDACTED]

2024年1月12日

下記の通り御請求申し上げます。

ご請求金額 36,000円

〒041-0811
函館市富岡町1丁目32番12号
株式会社経済ジャーナル
代表取締役 齊藤義弘 [REDACTED]
登録番号: T3440001004606

日付	商品名	数量	単価	金額
1/12	Economic Journal 年間購読料	12ヵ月	2,500	30,000
2024年2月1日～2025年1月31日分				
1/12	初期登録費用 (初年度のみ)	1回	2,728	2,728

消費税【10%】対象	32,728
消費税【10%】	3,272
合計	36,000

[REDACTED]
[REDACTED]
(株)経済ジャーナル
<振込期限>2024年1月31日

恐れ入りますが、振込手数料はお客様負担をお願い致します。
支払い期限が土・日・祝日の場合、翌営業日迄となります。

参考様式第1号

令和6年度

政務活動費支出伝票（一般）

会派名 市民参政の会

伝票番号 2

支出年月日	区 分		
令和6年6月12日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費 資料購入費・事務費		
支払先 ファミリーマート	支払金額		
	¥4,160		
摘要（品名）	数量	単価	金額
議会資料/一般質問配布資料プリント代	1	¥4,160	¥4,160

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）

【領収書等貼付欄】



函館市役所/S店
北海道函館市東雲町4番13号函館
市役所本庁舎地下1階
電話：0138-86-6281

登録番号：T1440003000712

2024年6月12日（水）14:47
レジ 91

領 収 証

市民参政の会 川崎裕太様

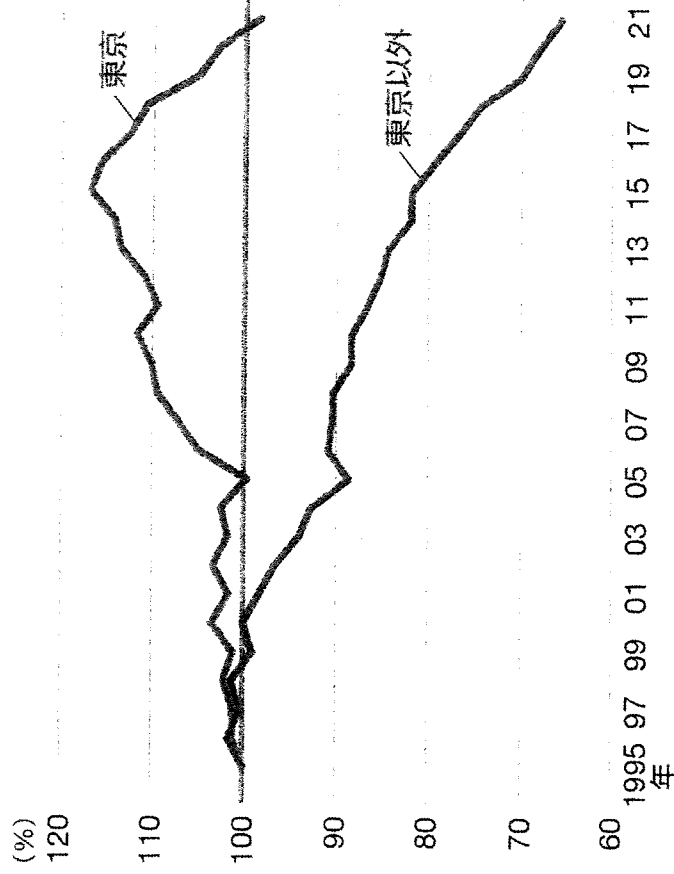
合 計 ¥4,160-
(10%対象 ¥4,160)
(内消費税等 ¥378)

但し、プリント代として
上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願い>
財布・手帳等に入れ保管頂く場合、
印刷面を内側に折って保管をお願い
いたします。

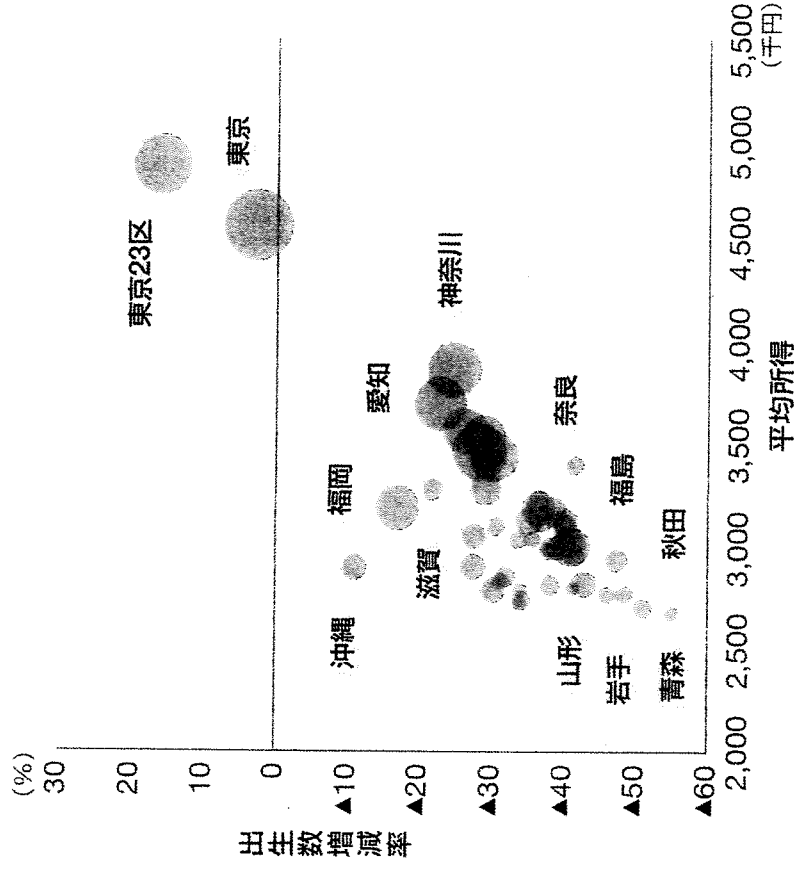
管理番号：25056341 00000120

■ 東京と東京以外の全国の出生数推移



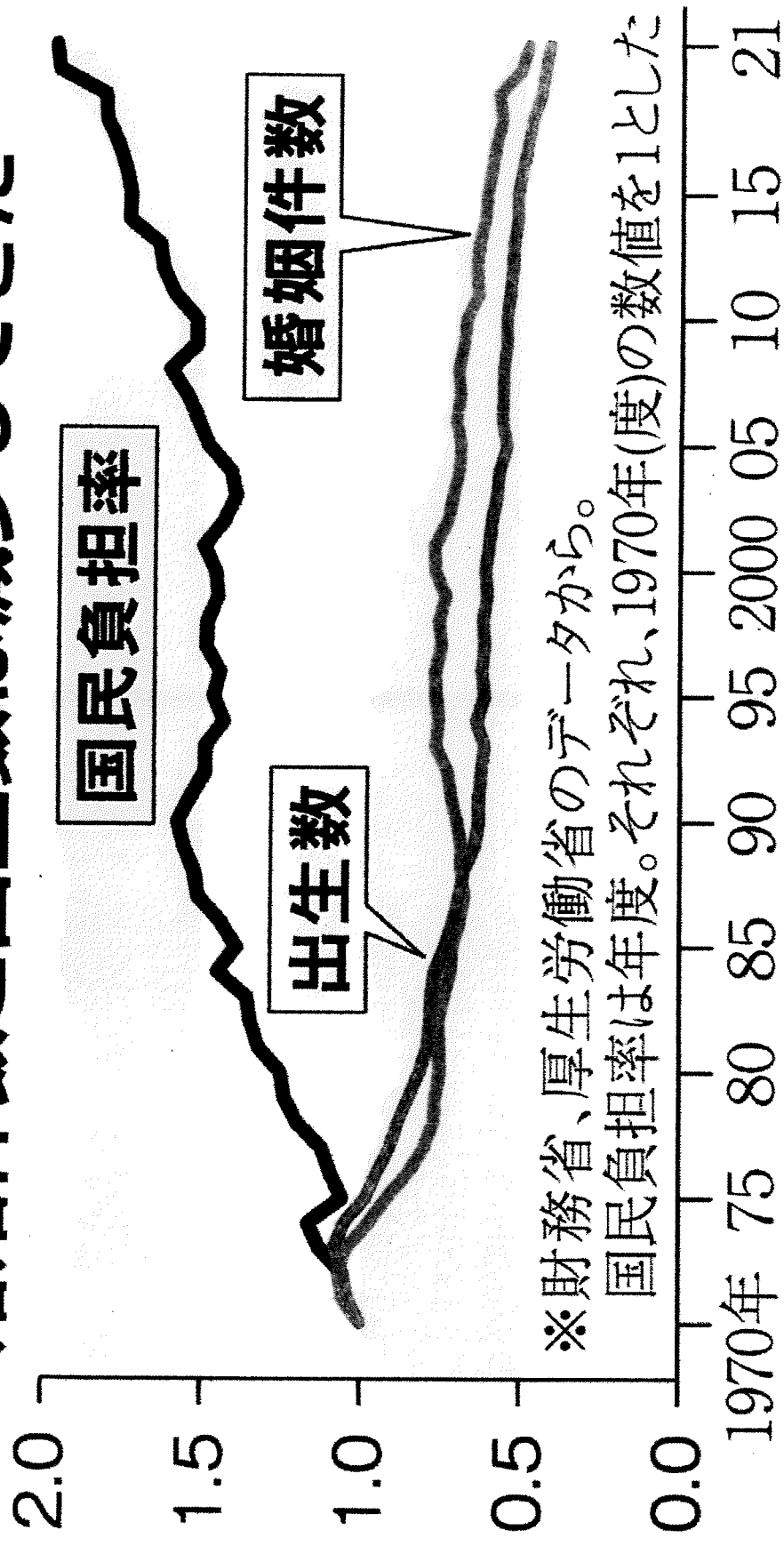
(出所)人口動態調査を基に荒川和久作成

■ 1995~2020年都道府県別出生数と所得相関



(注)バブルの大きさは2020年出生数。▲はマイナス
 (出所)人口動態調査および市町村税課税状況等の調を基に荒川和久作成

国民負担率の増加と反し、 婚姻件数と出生数は減少してきた



※財務省、厚生労働省のデータから。

国民負担率は年度。それぞれ、1970年(度)の数値を1とした

令和6年度 政務活動費支出伝票（旅費）

会派名 市民参政の会

伝票番号 3

旅行承認年月日	支払年月日	区 分	
令和6年6月17日	令和6年6月17日	調査研究費 ・研修費	
	氏 名	金 額	受領年月日
1	川崎啓太	¥ 70,100	令和6年6月17日
2			年 月 日
3			年 月 日
4			年 月 日
5			年 月 日
支払金額合計			
旅行の目的 展示会「自治体・公共Week2024」 参加のため			
用務地 東京都			
旅行の行程		旅費の内訳（1人当たり）	
6/25	函館市→東京都	路線バス, 私鉄	
6/26	東京都滞在	J R	
6/27	東京→函館市	航空賃	
/		日 当	¥9,000
/		宿泊費	
/		参加費	
/		その他（パック）	¥70,100
		合 計	¥ 79,100

領収書等は、別紙に貼付のこと（重ならないよう留意）



Web c52ab0d558cce21377b88ffdb2b6f3bb
2025年4月23日 16:04

搭乗証明書

お名前	KAWASAKI KEITA 様
年月日	2024年6月25日 (火)
便名	JAL 588
区間	函館 → 東京 (羽田)

上記のとおり、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
日本航空株式会社



Web 683ca087b332a037bddec135b81b3ae
2025年4月23日 16:04

搭乗証明書

お名前	KAWASAKI KEITA 様
年月日	2024年6月27日 (木)
便名	JAL 589
区間	東京 (羽田) → 函館

上記のとおり、ご搭乗いただきましたことを証明いたします。
日本航空株式会社

川崎 啓太 様

発行日：2024年6月17日

(株) JTB

函館五稜郭店

〈観光庁長官登録旅行業 第64号〉

〒040-0011

北海道函館市本町6-7 函館第一ビル1階

国内・海外 TEL:0138-56-1714 FAX:0138-56-3671

定休日：※毎週日曜日 5/3~5/5・12/30~1/3

営業時間：営業時間10:00~18:00 (受付終了時間17:00)

http://jtb.co.jp/shop/hakodategoryokaku/

担当者：[REDACTED]

●ご連絡先

自宅 [REDACTED]

お申込からご出発までの手続きのご案内

いつも弊社をご利用いただきありがとうございます。
お申込からご出発までの手続きについて、下記のとおりご案内させていただきます。

※ご不明の点等がございましたら「お問合せ番号」をお申し出の上、上記販売店までご連絡ください。

●お問合せ番号

[REDACTED]

●ご旅行者氏名

加井 ケイ 様

年齢：49歳 性別：男性 (ご契約責任者)

●ご旅行内容

ご出発日 2024年6月25日 (火)

ご旅行名 JTB

No.	月日	出発地/滞在地 到着地	時間	内容	人員/ 数量	備考
1	2024/06/25 (火)	函館 東京/羽田	19:30 21:00	JAL 588 一般席	1人 1席	個人包括旅行割引 (予約 変更できません) [SDPPF 1]
2	2024/06/25 (火)	品川・浜松町 [19TF3TW-1] JTB		ヴィアイン品川大井町 食事なし シングル 風呂トイレ禁煙 [19TF 3TW-1]	1人 1室	M1 [4013] [078]
3	2024/06/25 (火)			旅の過ごし方 (旅先のお楽しみい ろいろ)	1人	M1人
4	2024/06/26 (水)	品川・浜松町 [19TF3TW-1] JTB		ヴィアイン品川大井町 食事なし シングル 風呂トイレ禁煙 [19TF 3TW-1]	1人 1室	M1 [4013] [078]
5	2024/06/27 (木)	東京/羽田 函館	17:15 18:40	JAL 589 一般席	1人	個人包括旅行割引 (予約 変更できません) [SDPPF 1]

※状況区分記号 WL: キャンセル待ち、RQ: 手配中またはリクエスト中、BF: 発売前

※人員区分記号 MF: 大人、M: 大人男性、F: 大人女性、C及びCA~CD: 小人、INF: 幼児、OTH: その他

●ご旅行代金等

(参考様式 別紙1)

研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区 分	内 容	
会議等の名称	自治体・公共Week2024（自治体DX展、地方創生EXPO、スマートシティ推進EXPO、インフラメンテナンス展、地域防災EXPO、自治体向けサービスEXPO、ほかセミナー）	
会議等の目的	自治体DX、スマートシティ、防災、インフラ管理などの最新動向や他自治体の先行事例を収集し、函館市の行政DX推進、市民の生活の質向上、地域経済政策への貢献を目的とする。住みやすい街づくりや業務効率化に資する製品・サービスを学び、今後の施策に活かすため。 受講講義は 6月26日 10:00～11:00「自治体DXの先行事例」 6月27日 12:30～13:30「まちの魅力を最大化する観光DX」	
日 時	2024年6月26日 10:00～17:00 2024年6月27日 10:00～14:00	
場 所	東京ビッグサイト（東京都江東区有明3丁目11-1）	
出 席 者	出席議員氏名	川崎啓太
	講師等の氏名	「自治体DXの先行事例」 福岡県北九州市デジタル市役所推進室 デジタル政策監 中村彰雄 氏 神奈川県横須賀市 経営企画部 デジタル・ガバメント推進担当部長 寒川孝之 氏 「まちの魅力を最大化する観光DX」 （公社）福井県観光連盟観光地域づくりマネージャー（CMO）佐竹正範 氏 （一社）豊岡観光イノベーション 事業本部長島津太一 氏
	その他参加者	来場者数19,992人（主催者発表）
支出内訳		金額
旅 費	¥70,100×1人=¥70,100	¥70,100
日 当	¥3,000×3日=¥9,000	¥9,000
合 計		¥79,100

出張報告書

2024年6月28日

市民参政の会 川崎啓太 様

出張者氏名 川崎 啓太

下記のとおり出張したので報告します。

記

1 出張期間	2024年6月25日 ~ 2024年6月27日 (3日間)
2 用務地	① 6月26日、27日 東京都 江東区
	② 月 日 市・町
	③ 月 日 市・町
	④ 月 日 市・町
3 出張概要	自治体・公共Week2024 (自治体DX展、地方創生EXPO、スマートシティ推進EXPO、インフラメンテナンス展、地域防災EXPO、自治体向けサービスEXPO、ほかセミナー) 日時/6月26日10時~17時 6月27日10時~14時 会場/東京ビッグサイト (東京都江東区有明3丁目1-1)
4 所見	別紙1記載
備考	

自治体・公共 Week2024 所見

日時：令和6年6月26日（水）～6月27日（木）

会場：東京ビッグサイト

■自治体・公共 Week2024 の概要

自治体・公共 Week は、自治体 DX、スマートシティ、防災、インフラ管理などの最新技術や先進事例を紹介する総合展示会である。自治体関係者、官公庁、公共施設、地方銀行、商工団体などが来場し、最新の政策・技術・サービスについて情報交換を行う場となっている。

■参加の目的

函館市の行政 DX 推進、市民生活の質向上、地域経済政策への貢献を目的に、自治体 DX 展、地方創生 EXPO、スマートシティ推進 EXPO、インフラメンテナンス展、地域防災 EXPO、自治体向けサービス EXPO に参加。また、「自治体 DX の先行事例」および「まちの魅力を最大化する観光 DX」に関するセミナーにも参加し、他自治体の取り組みや最新技術について学んだ。

① 行政の DX（関連政策：第3期函館市活性化総合戦略・市政執行方針）について

函館市では、行政サービスの効率化と市民満足度向上のために DX を推進しているが、業務のデジタル化が一部にとどまり、職員の負担軽減や住民サービス向上にはまだ課題がある。展示会では、最新の生成 AI や RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を活用し、自治体業務の効率化を飛躍的に向上させる技術が紹介されていた。

特に、住民問い合わせ対応の自動化に関しては、PKSHA Communication の自治体向け AI チャットボットが目された。これにより、よくある問い合わせを AI が 24 時間対応し、職員の負担軽減と市民の利便性向上を両立できる。函館市でも、税・福祉・防災情報などの問い合わせ対応に活用すれば、窓口業務の負担軽減につながると考える。

また、文書作成・データ処理業務の自動化には、NTT データの RPA ソリューションが有効だ。

自治体では定型業務が多く、職員の業務負担が増大している。RPA を導入すれば、定型的なデータ入力や帳票作成を自動化し、職員がより付加価値の高い業務に注力できる。

さらに、住民情報のデジタル統合と活用についても、AI を活用したデータ分析基盤の導入が進められている。

自治体が保有する人口動態・税務・福祉・教育などのデータを統合し、可視化・分析することで、施策の効果測定や住民ニーズの把握が容易になる。函館市でも、データ連動型の行政運営を進めるべきだと感じた。

まとめ

- AIチャットボット導入で住民問い合わせ対応の自動化
- RPA導入で定型業務の削減と職員の業務負担軽減
- 住民情報のデータ統合・可視化で、データ駆動型行政を推進
- ペーパーレス化・オンライン申請の拡充で市民の利便性向上

関連出展企業・製品名

- PKSHA Communication (自治体向け AIチャットボット)
- NTT データ (RPAソリューション)
- NEC (行政データ統合・可視化プラットフォーム)

② 地域公共交通のDX化(関連政策:函館市地域公共交通計画)について

函館市の公共交通は市電と函館バスが主軸だが、運転士不足、利用者減少、インフラ老朽化などの課題が深刻化している。これらの課題に対し、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を活用した持続可能な交通施策が必要だと強く感じた。

市電は観光資源としての価値もあるが、収益確保や設備更新の面で厳しい状況にある。ICAS nimocaは既に導入されているが、地域通貨機能やスマートフォン連携などによる多機能化が求められている。展示会では、QUADRAC社のMaaS対応プラットフォームが紹介されており、ICカードの地域通貨化や利用履歴の可視化など、市民サービスと地域経済の両立に資する取り組みとして注目した。

函館バスでは、特に人材不足による減便や路線縮小が喫緊の課題である。出展企業 BOLDLY や ZMP のブースでは、自動運転バスやオンデマンド交通の実例が紹介されており、函館市でも人口密度の低いエリアから段階的に導入を検討すべきと感じた。AI運行管理によるルート最適化や予約アプリとの連携で、利用者目線の柔軟な交通が実現可能である。

また、雪国特有の環境にも対応できるよう、5Gや高精度地図と連動した自動運転支援技術が進化しており、北海道内の実証実験を参考に、函館市でも冬季対応型のモデル路線での試験導入を企業誘致をふくめ視野に入れるべきである。

公共交通は市民生活と地域経済を支える基盤であり、市電・バスを連携させたMaaS化、AIによる運行最適化、オンデマンド交通、自動運転の導入、そしてICAS nimocaの拡張活用によって、函館市の未来志向の移動環境を実現していく必要があると確信した。

まとめ

- ICAS nimocaの地域通貨化
- 市電・バスのリアルタイム運行情報提供とMaaS化の推進
- AIを活用した運行管理の最適化で効率向上
- オンデマンド交通の導入で、運転士不足と地域ニーズに対応
- 雪国対応型自動運転の試験導入を視野に入れる

関連出展企業・製品名

- QUADRAC (ICカード×地域通貨×MaaS)
- BOLDLY (自動運転・オンデマンド交通)

- ZMP (AI 運行管理)
- MONET Technologies (交通統合管理)
- KDDI (5G×自動運転支援)

③ 観光 DX の推進 (関連政策：第 3 期函館市活性化総合戦略・市政執行方針)

函館市の経済活性化において、観光振興は重要な柱である。今後は、従来の集客・プロモーションに加え、デジタル技術を活用した観光体験の革新=観光 DX の推進が不可欠と感じた。

まず注目すべきは、地域通貨と観光を融合させた取り組みである。展示会では、「まちのコイン」や QUADRAC 社の地域通貨連携型 IC プラットフォームなどが紹介されており、観光客が地域に貢献しながら体験・消費できる設計となっていた。これを函館で活用する場合、ICAS nimoca に地域通貨機能を追加し、地元飲食店や土産店で使えるようにすれば、地産地消の促進と地域経済への波及効果が期待できる。

次に、SNS を活用したデジタルマーケティングの強化が求められる。近年は、検索よりも SNS で旅先を決める傾向が強まっており、リアルタイムな映像配信、インフルエンサーとの連携、SNS 広告の最適化といった視点が重要である。展示ブースでは、観光コンテンツと SNS 施策を連携させた成功事例が複数紹介されており、函館市でもデータに基づいた戦略的プロモーションの展開が必要だと考える。

さらに、展示会で特に関心を引いたのが、XR (AR・VR) やメタバースを活用した「観光の事前体験・拡張体験」である。TOPPAN のブースでは、仮想空間上に歴史的建造物を再現した観光体験や、スマホを通じてまち歩きを AR で演出する技術が紹介されていた。函館においては、五稜郭や元町の歴史的建造物を仮想空間で復元し、事前に学び・訪問意欲を高める「学び × 観光」の仕組みが構築できると感じた。

また、若年層の来訪促進には、ゲーミフィケーション要素の導入が有効である。たとえば、「地方創生 RPG シリーズ」のように、まちを歩いてミッションをクリアする体験型スタンプラリーや、チェックインで特典がもらえる仕掛けを観光に組み込むことで、回遊率を高めることができる。

まとめ

- ICAS nimoca の地域通貨化と連携した「使って応援」型観光体験の創出
- SNS と連動した観光 PR ・映像発信の強化
- XR ・メタバースを用いた「学び × 観光」「事前体験」の導入
- RPG 型観光やデジタルスタンプラリーによる若年層向け施策の拡充

関連出展企業・製品名

- まちのコイン (地域コミュニティ通貨)
- QUADRAC (IC カード × 地域通貨 × 観光連携)
- TOPPAN (XR ・メタバース観光体験)
- 地方創生 RPG シリーズ (ゲーミフィケーション観光)

④ 教育 DX・メタバース活用（関連政策：函館市子ども計画・教育行政執行方針）について

函館市において、不登校は年々深刻化している。平成 30 年度から令和 5 年度にかけて、児童生徒数は 15,368 人から 13,541 人へと減少する一方、不登校児童生徒数は 291 人から 576 人へと約 2 倍に増加している。この急激な伸びは、単なる教育現場の問題にとどまらず、社会全体で支えるべき構造的課題であると認識する必要がある。

中でも、学校や支援施設を利用できていない児童生徒が半数近くにのぼることから、新たな「居場所」と「学びの場」の創出が喫緊の課題である。私自身も議会において、Society5.0 時代にふさわしい教育支援としてメタバースの活用を提案してきたが、今回の展示会でその可能性をあらためて強く実感した。

TOPPAN が提供する教育メタバースプラットフォームでは、アバターによる教室参加、バーチャルな協働学習空間、個別最適化された教材提供が可能であり、社会的な孤立感を抱えた不登校児童に対して、心理的なバリアを下げた参加環境を提供できる。この仕組みは、登校の前段階としての「準拠点」としても機能し得る。

さらに、Kids Public のような医療・メンタル面でのオンライン支援や、ベネッセの AI 型個別学習システムとの併用によって、学力保障と心のケアを同時に実現することが可能となる。

函館市では、サポートベースや校内サポートルームといった既存の支援体制があるが、これらをリアル・オンライン・仮想空間で補完的につなぐことが、今後の教育施策のカギになると感じた。

まとめ

- 不登校の倍増という統計的現実を直視し、DX による新たな支援環境を整備
- メタバースを「もう一つの教室」「社会的居場所」として位置付ける
- 生成 AI・遠隔学習・メンタル支援を一体化し、切れ目のない支援体制を構築
- 既存支援とメタバース・ICT を融合させた“函館モデル”を目指すべき

関連出展企業・製品名

- TOPPAN（教育メタバース）
- Kids Public（オンライン医療・心のケア）
- ベネッセ（AI 学習支援）

⑥ 部活動の地域移行における DX 活用（関連政策：函館市学校部活動の地域連携・地域移行方針）について

函館市では、教員の負担軽減と地域資源の活用を目的に、部活動の地域移行を段階的に進めている。特に少子化の影響により、学校単位での部活動継続が難しい地域も出ており、活動の継続性・多様性の確保が大きな課題となっている。

展示会では、スポーツクラウドや NTT 東日本などの企業が、オンライン指導・デジタル記録・進捗管理を一体化した「部活動マネジメント DX」のソリューションを紹介しており、これらは函館市のように中規模自治体で導入しやすい規模・コスト感で設計されていた。

また、活動分野の多様化の観点からは、プログラミング部・eスポーツ部のような ICT 部活動の導入が有効である。従来の体育会系・文化系部活動に加え、仮想空間・オンラインで展開可能な「次世代型の部活動」は、不登校児童の社会参加支援や、デジタルスキルの育成にも直結する。

TOPPAN の教育メタバースでは、遠隔でのプログラミング演習や、仮想空間内での協働開発体験なども可能であり、地域間での部員交流や技術指導がオンラインで実現できる。部活動にメタバースを導入することで、「地理的制約に縛られない共創の場」が生まれ、少人数校や過疎地域でも多様な部活動が成立する可能性が広がる。

さらに、地域移行にともなって発生する「指導者の確保」や「保護者の送迎負担」といった課題に対しても、オンラインミーティング・動画教材・クラウド型練習管理などを活用することで柔軟な運営が可能になる。デジタル技術は、単に代替手段ではなく、「新しい形の地域部活動の土台」として再定義されるべきである。

まとめ

- 遠隔指導・クラウド記録で地域指導者の負担を軽減し、継続的な運営を実現
- メタバース・プログラミング・eスポーツ等の新ジャンルを導入し、多様性を拡充
- 不登校・小規模校の生徒も含めた「誰ひとり取り残さない部活動」へ
- 地域・企業・学校の連携により、デジタル活用型地域クラブの構築を進めるべき

関連出展企業・製品名

- スポーツクラウド（部活動マネジメントシステム）
- NTT 東日本（遠隔型クラブ運営プラットフォーム）
- TOPPAN（教育メタバース・仮想空間での部活動支援）

④ 福祉 DX・ICT 活用（関連政策：函館市福祉計画・介護保険事業計画・こども計画）について

函館市では、人口減少と高齢化が急速に進行しており、それに伴う介護人材不足・福祉サービスの偏在・子育て支援の複雑化など、幅広い分野で課題が顕在化している。こうした中、福祉分野における DX・ICT の活用は、単なる効率化ではなく「支え合う地域社会の再構築」に直結する重要施策であると認識した。

高齢者福祉としては一人暮らし高齢者の増加により、見守りや介護の担い手不足が深刻化する中、展示会ではパナソニックが提供する「IoT 見守りシステム」や「在宅介護 AI センサー」が紹介されていた。これにより、異常検知・活動量の可視化・遠隔家族通知が可能になり、地域包括ケアとの連携強化にも資すると考えられる。Kids Public が提供する「オンライン健康相談」サービスは、介護施設や在宅高齢者への医療的支援の即時性と安心感の確保において非常に有効であり、夜間や休日の体調変化にも対応できる仕組みとして導入が期待される。

また、障がい者の社会参加を支えるには、リアルな就労先だけでなく、テレワーク・在宅就労の支援体制を整えることが必要である。展示会では、障がい者向けリモートワーク支援ソリューションが複数紹介されており、障がいの特性に合わせた ICT 活用や AI 支援によって、自立的かつ柔軟な働き方が可能になることを実感した。

さらに、TOPPAN のメタバース交流スペースでは、言語や身体的障がいのある方がアバターを通じて社会的な交流や相談を行える事例が紹介されており、これは障がい者の孤立防止と地域包摂の観点からも有効と考える。

函館市の「こども計画（素案）」では、子育て世帯に対する切れ目のない支援が掲げられているが、展示会で紹介されていた Kids Public の「オンライン小児科・産婦人科相談」は、まさにその一環として効果的である。妊娠期から子育て期における不安の可視化と迅速な対応、LINE 等を活用した子育て情報の発信、デジタル母子手帳の導入などにより、共働き家庭や孤立した保護者への支援強化が期待できる。

まとめ

- 高齢者：AI 見守り・オンライン健康相談の導入で安心と効率を両立
- 障がい者：メタバース・リモートワークによる就労と社会参加の支援
- 子育て：相談・診療・情報発信をオンライン化し、切れ目のない支援体制を強化
- リアルとデジタルを融合させた「地域まるごと包括ケアモデル」の構築へ

関連出展企業・製品名

- パナソニック（見守りIoT・介護センサー）
- Kids Public（オンライン医療・子育て相談）
- TOPPAN（メタバース福祉交流プラットフォーム）

■ 受講セミナー

6月26日 10:00～11:00 「自治体 DX の先行事例」

講師：福岡県北九州市デジタル市役所推進室 デジタル政策監 中村彰雄 氏

講師：神奈川県横須賀市 経営企画部 デジタル・ガバメント推進担当部長 寒川孝之 氏

このセミナーでは、「本気でデジタル変革に挑戦している自治体」の現場視点から、行政 DX の進め方・人材戦略・文化醸成の実例が示され、非常に実践的で刺激を受けた内容であった。

福岡県北九州市の中村彰雄氏（デジタル政策監）からは、業務改革と並行して市民向けサービスの UI/UX 向上を徹底した取り組みが紹介された。市民のニーズを起点とした「スマート窓口」や「LINE を活用した情報通知」「紙の手続きをデジタル化する仕組み」など、現場とともに作る姿勢が印象的だった。

また、神奈川県横須賀市の寒川孝之氏（デジタル・ガバメント推進担当部長）は、「デジタル市役所宣言」以降、庁内業務の可視化・分析から、RPA・AI チャットボット・職員教育まで、DX を組織として根付かせるための「構造的な改革」を実行している点で非常に学びが多かった。

特に、横須賀市の DX は「市民体験の変革」だけでなく、「職員の働き方や意識の変革」までを目的に据えている点が先進的であり、これは函館市にとっても極めて参考になる。

また VLED の記事では、横須賀市が約 6,000 件の行政手続きをすべて洗い出し、可視化し、優先順

位をつけて取り組む「手続き棚卸し」の全庁 DX プロジェクトを推進していることが紹介されており、これにより属人化の打破・部門横断の連携が実現されている。

函館市でも、単に AI ツールを導入するだけでなく、業務の再設計 (BPR)・意識改革・組織文化の変革を伴う全庁横断のアプローチが不可欠であると感じた。

まとめ

- 市民体験と職員業務の両面から“全体最適”を目指す DX が重要
- LINE・AI・RPA の導入だけでなく、業務プロセスの見直しと文化改革を伴うべき
- 行政手続きの棚卸し・デジタル人材育成・UI/UX 重視の設計は即応可能な施策
- 函館市でも“横須賀モデル”のような部門横断型の DX 推進体制の構築が急務

6月27日 12:30～13:30「まちの魅力を最大化する観光 DX」

講師：(公社) 福井県観光連盟観光地域づくりマネージャー (CMO) 佐竹正範 氏

講師：(一社) 豊岡観光イノベーション 事業本部長 島津太一 氏

本セミナーでは、「観光地の魅力をどう可視化し、滞在価値と再訪率を高めていくか」という視点から、地域データ・生成 AI・顧客体験設計 (CX) の実践事例が紹介された。単なる集客ではなく、“観光をまちづくりの核とする”観光 DX の考え方が非常に印象深かった。

福井県では、佐竹氏のもとで観光客の行動データをもとに「観光まちづくり指標」を策定し、SNS やウェブサイトの閲覧数・動線分析を元に、リアル空間への誘導や消費増を図っているとのこと。データをもとに現場の観光事業者と「共創型で観光 DX を進めている」点が印象的だった。

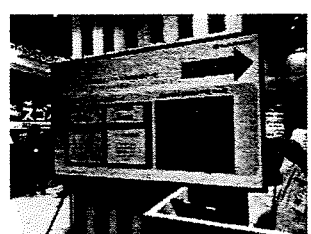
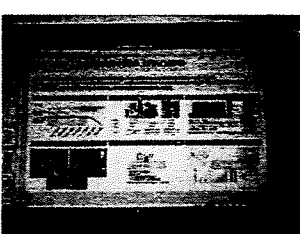
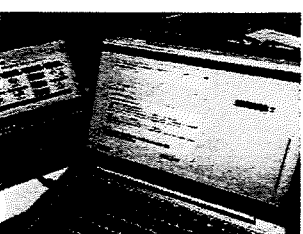
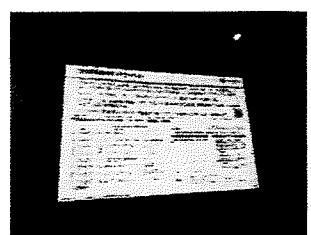
また、豊岡市では、島津氏が中心となり観光客一人ひとりの価値観に応じたプログラム提供や、情報発信と体験予約を一体化したデジタル基盤を構築。結果として滞在時間と消費単価を上げ、“まち全体をテーマパークにする”設計思想が実現されていた。

函館市においても、五稜郭や元町、湯の川といった観光エリアの“点”を“線”でつなぎ、デジタル技術を活用して観光導線・回遊性を最適化することで、「来てもらうまち」から「滞在して巡るまち」への転換が図れると考える。


また、生成 AI やチャットボットによる観光案内の多言語対応、XR・メタバースによる歴史再現・体験提供、地域通貨を使ったインセンティブ設計などは、函館のような観光都市にとって即戦力になり得る要素である。

まとめ

- 観光は“来てもらう”から“地域と共につくる体験”へと進化している
- 行動データ・SNS 分析に基づく観光導線と情報発信の最適化が鍵
- 生成 AI・XR・地域通貨などの技術を組み合わせ、体験価値と再訪率を向上させるべき



6月26日[水] 10:00~11:00
自治体DXの先行事例

 自治体DX推進 事例 〇〇市	 自治体DX推進 事例 〇〇市
--	--

6月27日[木] 12:30~13:30
まちの魅力を最大化する観光DX

 観光DX推進 事例 〇〇市	 観光DX推進 事例 〇〇市
---	---

以上

自治体・公共 Week 2024 入場用バッジ



市民参政の会

函館市議会 議員

川崎 啓太



1037813916451046-CDB



ご来場ありがとうございました！

2024年会期初日の様子はこちら>

自治体・官庁のトップがセミナー登壇 地域経済、地方自治体の未来を考える3日間



デジタル庁
デジタル大臣
河野 太郎



群馬県前橋市
市長
小川 晶



東京都
副知事
宮坂 学



全国地域情報化推進協会
理事長
吉田 真貴子

【全セッション聴講無料】

- ・自治体、官庁のトップが連日講演！最新の公共施策や自治体の取組み事例を学べます
- ・地方創生、DX推進、スマートシティ、地域防災など、幅広いテーマで講演を多数開催します

基調講演▼

特別講演▼

特別企画▼

自治体職員向けセミナー▼

基調講演

6月26日[水] 10:00～10:45

デジタル田園都市国家構想の 実現に向けて

内閣官房
デジタル田園都市国家構想
実現会議事務局
事務局長
吉川 浩民



6月28日[金] 12:30～13:15

デジタル改革の現状と今後の方向性

デジタル庁
デジタル大臣
河野 太郎



特別講演

6月27日[木] 10:00~11:00

地域医療スペシャルトーク



内閣府特命担当大臣
(地方創生)
自見はなこ



宮城県仙台市
市長
郡 和子



仙台市医師会
会長
安藤 健二郎

6月26日[水] 15:00~15:45

「共同化」で進める行政DX



東京都副知事
宮坂 学

6月27日[木] 12:30~13:30

地域におけるDX人材育成

(一財) 全国地域情報化推進協会
前理事長/
Japan CDO Community 世話人
吉田 真貴子



ほか登壇予定

6月27日[木] 15:00~15:45

『デジタルグリーンシティ前橋』の実現に向けて
～市民目線のわかりやすいデジタル化を～



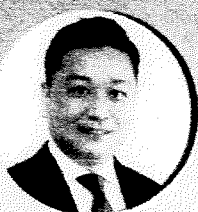
群馬県前橋市
市長
小川 晶

自治体ライドシェアで築く 地域交通の新たな可能性

6月28日[金]
15:00~16:00



大阪府東大阪市
市長
野田 義和



石川県小松市
市長
宮橋 勝栄



シェアリングエコノミー協会
代表理事
石山 アンジュ

6月28日[金] 10:00~10:45

我が国の防災対策の最前線

～能登半島地震の対応を
踏まえて～

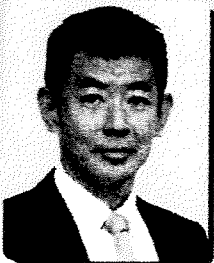


内閣府
政策統括官 (防災担当)
付参事官 (総括担当)
中尾 晃史

6月26日[水] 12:30~13:15

地域の未来を担うインフラメンテナンス

国土交通省
総合政策局
公共事業企画調整課長
齋藤 博之



5月27日[木] 15:00~16:00

自治体・公共Week 特別企画

「Digi田甲子園事例紹介パネルディスカッション」

内閣官房

デジタル田園都市国家構想
実現会議事務局内閣審議官
(内閣官房副長官補付)

西 経子

ほか受賞団体



協力：デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

自治体職員向けセミナー

*自治体職員の方以外も聴講可能

6月26日[水] 10:00~11:00

自治体DXの先行事例



福岡県北九州市
デジタル専任所所長兼 デジタル政策課
中村 彰雄



神奈川県横浜須賀野市
経営企画部 デジタル・ガバメント推進課 課長
寒川 孝之

6月28日[金] 10:00~10:45

小規模自治体でもできる！DX推進



高知県黒潮町
企画調整課 デジタル推進係 係長
中腰 力儀



高知県黒潮町
COO
由比 良雄

6月26日[水] 15:00~16:00

スマートシティ推進のポイント



長野県伊那市
企画課 課長
飯島 智



愛知県岡崎市
総合政策部 デジタル推進課 課長
鈴木 昌幸

6月26日[水] 12:30~13:30

自治体職員が知っておくべき被災時対応



(一社) SNSエキスパート協会
代表理事
後藤 真理恵



(一社) 地域防災支援協会
代表理事
三平 海

6月27日[木] 12:30~13:30

まちの魅力を最大化する観光DX



6月27日[木] 12:30~13:30

まちの魅力を最大化する観光DX



(公社) 福井県観光連盟
観光地域づくりマネージャー (CMO)
佐竹 正範



(一社) 豊岡観光イノベーション
専務本部長
島津 太一

- ・敬称略、順不同。一部所属・役職を省略している場合がございます。
- ・すべて事前申込制、満席になり次第、受付終了となります。
- ・セッションの録音、写真・動画 撮影などは一切禁止させていただきます。また、都合により講師、プログラムの内容が変更になる場合がございます。

＼ 入場には事前の来場登録（無料）が必要です ／

以下のフォームからお申込みいただくと、来場登録の開始や展示会情報について随時ご案内をお送りさせていただきます。

[来場者向け情報配信のお申込み【無料】>](#)



地域の未来につながる出会いを

自治体・公共 Week

【会期・会場】

2025/7/2(水)~4(金)

10:00~17:00

東京ビッグサイト(館1~4ホール)

【お問合せ】

public-week.jp@rxglobal.com

03-6739-4136

03-4563-2100

Follow Us

[Facebook](#)

[Instagram](#)

[X \(旧Twitter\)](#)

Links

[サイトマップ](#)

[ご利用条件](#)

[個人情報保護方針](#)

[個人情報の更新・修正](#)

[個人情報の確認・削除](#)

[展示会・セミナー参加ポリシー](#)

[クッキーポリシー](#)

[クッキーの設定](#)

Copyright © RX Japan Ltd.



参考様式第1号

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 4

支出年月日	区 分		
令和6年10月31日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先	支 払 金 額		
ヨ一セー・ユースウェア	¥63,580		
摘 要 (品 名)	数 量	単 価	金 額
キヤノン複合機 Satera MF654Cdw 本体	1	¥63,580	¥63,580

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証

市民参政の会 川崎市本様

No. 70369

★

¥63,580-

但

キヤノン複合機 1台

2024年10月31日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜・税込)	63,580
%	消費税額等	2,790
税率	金額(税抜・税込)	
%	消費税額等	

登録番号: T5440002005163

株式会社

ヨ一セー・ユースウェア

函館市豊田本町1番11号

Tel・Fax 0138-40-5598

(日本政府)
印入保証

200円

お客様コード

040-0036

北海道函館市東雲町4-13

市民参政の会 川崎啓太 様

請 求 書

24 年 9 月 30 日 締切分 (31)

No. 1

有限会社ヨークスウェア
〒041-0813 函館市亀田本町11-11

TEL/FAX 0 13-8-240-5598

振込先

登録番号：T5440002005163

毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

※明細欄は税別金額です

前回御請求額	御入金額	繰越金額	御買上額	今回御請求額
0	0	0	63,580	¥63,580

伝票日付	伝票No.	品名	数量	単位	単価	金額
24/ 9/ 9	2531	CANON 複合機 Satera MF654Cdw 消費税等10.0%	1	台	57,800	57,800 5,780 (63,580)
		【合 計】 (内消費税等10.0%)				63,580 (5,780)

参考様式第1号

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 5

支出年月日	区 分		
令和6年12月3日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 ケースデンキ		支払金額	
		¥12,644	
摘要(品名)	数量	単価	金額
キャノン複合機トナー(黒)	1	¥12,644	¥12,644

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

新製品が安い
K'S ケーズデンキ

お買上げ明細

2024年12月 3日(火) 16時31分

-<明細>-			
1 ●トナーカートリッジ キヤノン 4549292187403 CRG-067HBLK	1点	10%	¥12,644
5%値引対象			
1点/合計			¥12,644
税率別内訳 /	課税対象額	10%	¥12,644
	(内消費税額)		¥1,149

[0545181-054718737-2310007233072]

領収証

2024年12月 3日(火) 16時31分

市民会館 川崎 様

金額 ¥12,644

(内消費税等 ¥1,149)
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥12,644
(内消費税額 ¥1,149)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

-<決済内訳>-		
現金		¥12,644
	(内消費税等)	¥1,149
現金お預かり		¥20,004
お釣り		¥7,360

登録番号:T6370001005600
株式会社デンコードー

ケーズデンキ函館本店
電話番号 0138-47-8840
販売担当者718737

店コード 2200005451816
売上伝票番号 2310007233072

オンライン出張修理受付
↓大型家電の出張修理の申し込みはこちらから↓



参考様式第1号

令和 6 年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 6

支出年月日	区 分		
令和 6 年 12 月 5 日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 コジマ		支払金額	
		¥2,720	
摘要(品名)	数量	単価	金額
USBメモリー	1	¥2,720	¥2,720

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領収証



コジマビックカメラ 函館店
電話番号 0138-44-3900

市民会館の会
川崎 裕 下 様

¥2,720-

(内、消費税等 ¥247-)

10%対象 ¥2,720 消費税 ¥247
(USBメモリー)代として

上記正に領収致しました。

お知らせ

★印の付いている商品は
セルフメディケーション税制対象商品です

ご存知ですか?
セルフメディケーション税制
目印はこちら

セルフメディケーション

税 控除 対象



目印はこちらのQRコードです

2024/12/05/11:38 レジNo5017/0101
取引No5567 販売員00707

USBメモリー U3CSTD64G/S ¥2,720

小計 ¥2,720

合計 ¥2,720

(内、消費税等 ¥247)

10%対象額 ¥2,720 消費税 ¥247
点数 1

お支払い ¥2,720

<お支払の内訳>

現金 ¥2,720

(内、消費税等 ¥247)

お預かり合計 ¥3,000

釣銭 ¥280

(株)コジマ

登録番号 T2060001001667

コジマ長期保証

スマホ・パソコン
確認できます!



詳しい内容は

https://www.kojima.net/rec_guide/warranty.html

ご来店アンケート

毎月抽選で1,000名様に

スマホでQRコードを読み取って
アンケートに回答

500

ポイントプレゼント!



※ポイントプレゼントは抽選で1,000名様にのみです。

品揃え・接客・サービスご意見を伺っております!

PCでアンケートURLは [https://form.jp/kojima/a_p/233/]



参考様式第1号

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 7

支出年月日	区 分		
令和6年12月11日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 イエローグローブ亀田店		支払金額	
		¥3,060	
摘要(品名)	数量	単価	金額
コピー用紙	2	¥492	¥984
ホッチキス	1	¥1,958	¥1,958
ホッチキス針	1	¥118	¥118

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

市民会館
川崎 様

領 収 証

¥3,060-

2024年12月11日 (水)

上記正に領収しました(消費税等
不課税品) 亀田店
北海道函館市亀田町21番19号 TEL 0138-40-2211
登録番号 278円を含まず
16440001007977
印刷面を内側に折って保管下さい※紙質 函館市西栲樓町589-124

0062-2710-4677

*印は8%対象商品
2024年12月11日(水)19:10 0062

責No00040010

内DCM 白さ鮮やかコピー用紙
2コX単492 ¥984
内MAX ホッチキス パ ¥1,958
内MAX バイモ用 針 ¥118
合計 ¥3,060
(内10% 対象 ¥3,060)
(内10% ¥278)
(内税計 ¥278)
(税合計 ¥278)
お買上点数 4点
シートNo4677 店No00006

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 8

支出年月日	区 分		
令和6年12月24日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 ヨ一セ一・ユ一スウエ一		支払金額 ¥26,510	
摘要(品名)	数量	単価	金額
キャノン複合機トナー4色セット	1	¥26,510	¥26,510

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

領 収 証

市民参政の会川崎啓太様 No. 70388

★ ¥26,510-

但 トナー代

2024年12月24日 上記正に領収いたしました 登録番号 T5440002005163

内訳	税率	金額(税抜)	26,510
	%	消費税額等	2,410
内訳	税率	金額(税抜・税込)	
	%	消費税額等	

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

羽館市恵田本町1番11号
有限会社
ヨ一セ一・ユ一スウエ一
Tel・Fax 0138-40-5598

請 求 書

No. 1

お客様コード XXXXXXXXXX

24 年2 月1 日 締切分(31)

040-0036

有限会社 XXXXXXXXXX スウェアー
〒041-0813 函館市亀田本町 11-11

北海道函館市東雲町4-13

TEL/FAX 0158-44-5598

市民参政の会 川崎啓太 様

振込先 XXXXXXXXXX

登録番号：T5440002005163

毎度ありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。 ※明細欄は税別金額です。

前回御請求額	御入金額	繰越金額	御買上額	今回御請求額		
0	0	0	26,510	¥26,510		

伝票日付	伝票No.	品名	数量	単位	単価	金額
24/12/ 5	2547	CANON 複合機 トナー4色セット 消費税等10.0%	1	セット	24,100	24,100 2,410 (26,510)
		【合 計】 (内消費税等10.0%)				26,510 (2,410)

参考様式第1号

令和 6 年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 9

支出年月日	区 分		
令和 7 年 3 月 24 日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・事務費		
支払先 イエローグローブ豊川店		支払金額	
		¥2,460	
摘要(品名)	数量	単価	金額
コピー用紙 500 枚入	5	¥492	¥2,460

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

市長参政の会
川崎啓太様

領 収 証

2025年03月24日 (月)

¥2,460-

上記正に領収しました (消費税等
不取) 王子製紙川崎店 登録番号 223円を含みます
北海道函館市豊川町7番19号 TEL 0138-27-7311 T6440001007977
印願面を内側に折って保管下さい

0302-0951-2698

* 印は8%対象商品

2025年03月24日(月)14:14 ｼﾞ'0302

賣No00006416

内DCM 白さ鮮やかコピー用紙
5コX単492 ¥2,460
合計 ¥2,460
(内10% 対象 ¥2,460)
(内10% ¥223)
(内税計 ¥223)
(税合計 ¥223)
お買上点数 5点
ｼﾞｰﾄNo2698 店No00030

令和6年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 市民参政の会

伝票番号 10

支出年月日	区 分		
令和7年3月24日	調査研究費・研修費・広報広聴費・会議費 資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u>		
支払先 ファミリーマート	支払金額 ¥298		
摘要(品名)	数量	単価	金額
スティックのり	1	¥298	¥298

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】



函館市役所/S店
北海道函館市東雲町4番13号函館
市役所本庁舎地下1階
電話: 0138-86-6281

登録番号: T1440003000712

領 収 証

2025年 3月24日

市民参政の会 川崎浩木様

¥298-

10%対象日用品等 ¥298
(内消費税等 ¥27)

但しスティックのり代として

上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願い>
財布等に入れ保管される場合、印字
面を内側に折って保管して下さい。